

SNS・ブログの情報発信を考えよう！①

～知識・分析編～

<ねらい>

- ・ブログやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の賢い利用方法・メリットと、注意すべき事項について、経験や情報を共有し、賢く活用できる力を獲得する

- ・ブログ＝管理者が記事を投稿する私的ニュースサイト・日記のこと
メールやブラウザ上で更新できるなど、Webのような専門知識が不要である
- ・SNS＝ソーシャルネットワーキングサービスと言われる会員制交流サイト
匿名・ニックネームが主流であるが、Facebookのような実名交流サイトもある
(例)「Mixi」「Facebook」「Twitter」「GREE」「モバゲー」など

<知識の整理>

- ・説明を聞きながら、Web・ブログ・SNSの特徴をまとめよう！

	Web	ブログ	SNS
発信の対象	不特定多数		
更新の手間	△ 知識必要		
双方向性	× メールなどによる		
その他特徴			

<作業>

1. 人気がありそうな一つのブログを選び、ターゲットやどのような情報が掲載されているか、調べ・分析して、下の表にメモしてください。

ブログ名 (アドレス)	(http://www.)
ターゲット	
情報の内容	

2. ブログやSNSといった個人が情報発信できるツールの便利な点（メリット）、課題・注意すべき点は何でしょうか。自身の経験周りの経験＋調べてください。

手順：①個人で表と付せんに記入 → ②グループで共有し分類・整理しましょう

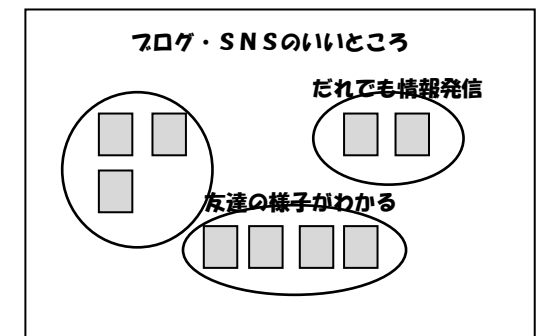
	便利な点	
自分や 周りの経験		
調べたこと		

<実習：付せん紙を使ったグループの意見のまとめ方>

1. 画用紙にそれぞれが書いた付箋を貼り付けてください
・画用紙の1枚は「便利な点」、1枚は「注意すべき点」ばかりをはりつけてください
2. 画用紙にはりつけたキーワードを見ながら似たような項目を集めて、グループ分けしてください。
<イメージ図>

- ①まずは「便利な点」から
- ②わからないキーワードがあれば
書いた人に説明を求めてください。
- ③グループを区切る線、言葉の追加
は画用紙に書き込んでください
- ④似たような項目に分類ができれば、
そこにタイトルをつけましょう。

この方法を（ ）とよびます



3. 各グループごとに簡単に話し合った内容を発表しましょう（各2分以内）

SNS・ブログの情報発信を考えよう！②

～まとめ・活用編～

4. 他の班の発表を下の表にまとめてみよう。

いいところ	注意するところ

<知識の整理>

☆一般的にブログやSNSなど個人の情報発信で気をつけることは？

- ① () → SNSは公開範囲を制限可能
- ② () → 法律違反は×、損害賠償事例あり
- ③ () → 見て不快・度を過ぎれば裁判にも
→ さかのぼって見られても大丈夫な情報発信を！

考察 自分のブログ・SNSで情報発信をする際に、どのようなことに気をつけるべきか？
箇条書きで具体的に書いてみよう

実習2. 学校が公式ブログ・SNSを作った場合、どのような情報を載せればいいと思うか。

手順 ① 学校の公式ブログや・SNSのターゲットを考えてみよう
できるだけ多くのターゲットをグループで話し合ってみよう

手順 ② これらターゲットにどのような情報を発信すればいいか？
ブレインストーミングと付せんを使って、できるだけたくさんあげてみよう。

ブレインストーミングのルール

1. 判断・結論を出さない（結論厳禁）
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は慎む。
2. 粗野な考えを歓迎する（自由奔放）
誰もが思いつきそうなアイデアよりも、ユニークで斬新なアイデアを重視。
3. 量を重視する（質より量）
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
4. アイディアを結合し発展させる（結合改善）
アイデアをくっつけたり一部を変化させたりすることで、新たなアイデア

手順 ③ グループの用紙を、下の表に自分なりにまとめてください。

ターゲット	情報の内容

考察 授業で学んだことをもとに、考えたこと・知ったこと・思ったことを書いてください。

SNS・ブログの情報発信を考えよう! ③

～標語作成編～

<ねらい>

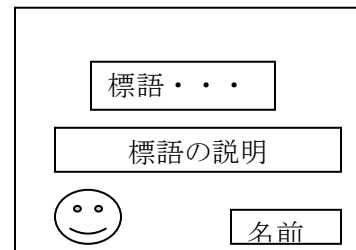
1. ネットの安全利用について、主体的にその利用について考える
2. 短い言葉で伝えたいことを表現する「標語」の制作を通し、表現を学ぶ
3. 標語をポスターとして表現し、それを見る中学生に注意を呼び掛ける

< 課題 >

1. 中学生に向けて、インターネット・ケータイ・スマホ・SNSなどを活用する際に注意すること、活用するための工夫について標語を作成する
(参考例)「おくるまえ、友だち思って 読みなおそう」
「自分から ネットのマナー 考えよう」
「いいマナー ネットの中で いい出会い」
2. 標語と標語の説明を書いた簡単なポスターをプレゼンテーションソフトで制作する。(下記見本参照)
3. 作った標語は全員の作品を全国規模の情報モラル標語コンクールに応募する。(IPAまたはFMMC主催のコンクール、各賞あり)
4. 作ったポスターは調理室前に掲示し、全校生(特に中学生)への啓発活動として用いる。

<制作手順>

1. 一般的な標語の工夫を研究する
・町やWebで標語を一つ選び、研究シートで分析文責する。
2. 伝えたいメッセージを決めて、企画書に記入する。
・何をテーマ(例えば、ケータイ、メール、ネット、ゲーム、ブログ・・・)に何を呼びかけるか(例えば、危険性、賢い利用方法)を企画書に記入する。
3. 企画書に沿った標語を考える。
4. PowerPointで標語・その意味を書いた簡単なポスターを作る。画像も入れる。
・背景・画像・フォント等工夫すること



研究シート

標語	
標語を作った機関	
ねらい (伝えようと している内容)	
標語の工夫 (この標語の工夫 している点)	

※過去の受賞作品のページから選んで、研究してください。

- ・IPA 情報セキュリティ標語コンクール(<http://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/2012/>)
- ・FMMC ネット安全安心利用(http://www.fmmc.or.jp/hyogo/2012_kekka/hyogo24.html)

企画書

何について?	
どんなことをよびかける?	

考えた標語

標語	
標語のねらい	